## 1.平成21年7月~9月期の景気動向

全業種のDI値の平均は、前回 5 1 ポイントに縮小し、景気は底を打ったと思われたが、今回は 6 3 ポイントと再び悪化しており、依然売上減少と、資金繰りを中心に厳しい状況が続いている。

業種		建設業			製 造 業			卸 売 業			小売業				サービス業				
項目		7~9月 10~12月		~ 12月	7~9月		10~12月	7~9月	10	10~12月		7~9月		10~12月		7~9月		10~12月	
		今期状況	見	通し	今期状	忧况	見通し	今期状況	見	通し	今	期状況	見	通し	今	期状況	見	通し	
売 上 高		6		73		67	36	80		50		63		70		67		48	
		( 73	)   (	67)	( 6	66)	( 61)	( 69)	(	70)	(	70)	(	70)	(	74)	(	54)	
		Tool of	9	or t	Cost	ř.	Lock.	Cont.		rel .		oil.	1	mil!	- 9	ar l	Ŷ	od l	
		6	)	60	į	58	44	80		70		56		59		59		38	
採	算	( 67	) (	53)	( 7	71)	( 56)	( 52)	(	42)	(	67)	(	65)	(	63)	(	56)	
		The state of	Í	and the	and the	•	mall.					- T					ğ	mil.	
資金繰り		4	3	50	į	52	41	20		30		37		48		31		12	
		( 43	) (	57)	( 6	60)	( 57)	( 62)	(	59)	(	31)	(	35)	(	46)	(	38)	
		Call.	Í	aril .	Cont.	•	See V	<b>P</b>			-				Ġ		ĺ		
	況	6	7	73	(	66	47	70		50		56		62		58		44	
業		( 43	) (	57)	( 7	70)	( 64)	( 13)	(	67)	(	67)	(	65)	(	56)	(	46)	
		and the	1	THE STATE OF	and the		TO Y	Total State	1	Total Control	1				4	and the	ğ	all.	
20世上の	1位	官公需要の停滞			需要の停滞			需要の停滞			需要の停滞				需要の停滞				
/ <del>17 24</del> 1 <b>6</b>	1 71/1	日公帝多	いけん	,	而妥切	17 711		而女の庁が	þ		11113 -	20213 ///	,		而玄	(0) [] /	•		
経営上の当面する	2位	民間需要			製品(力	加工)		販売単価の 難		F·上昇	消費	<b>費者二−</b>		)変化	利用			変化	
			の停滞	Ħ	製品(加下・上昇製品二	加工) 昇難 ーズ		販売単価の	)低门		消費への 購買	費者二- D対応 買力の他	-ズ0		利用への店舗	者二-  対応  捕施設σ	-ズの		
当面する	2 位	民間需要請負単位難 民官	原の停滞 面の低下 需要の	お・上昇	製品(加下・上昇 製品ニの対応 前期	四工) 昇難 ーズ	単価の低の変化へ	販売単価の 難 代金回収の 全項目	D低T D悪f で D	と I値の	消費 への 購買 流量	費者二-□ 対応 買力の他 出 質金繰□	- ズ <i>0</i> 2地均 2) を	域への 除く D	利用への店舗	  者二-  対応    施設の    お盆や	· ズの )狭隘 夏季	並・老	
当面する	2 位	民間 請負 単値	原の停滞 面の低下 需要の 別な状況	帯 下・上昇 ア・上昇 が続いま	製品(加) 製品(加) 製品(加) 製品(加) 製の 前移 がある がある がっこう おいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい	加工) 対数 一ズ によって	単価の低 の変化へ まぼ同じに 1るが、依 5 上減少に	販売単価の 難 代金回収の 全項目 回復は見り 人消費の	の悪んでいたが、	と I値の ず、個 もしば	消へ開流がほん	者二一 対応 関力の他 出 登金好車 の、何	- ズ <i>の</i> - ズ <i>の</i> - ズ <i>の</i>	域への 除く D ている 不況に	利へ店託しまする	者二一   対応    捕施設の   一 盆 や   一 ズン	-ズの)狭 夏よい	*・老 * 観光 り、利 全体的	
当面する	2 位	民間需要 はきれい はきれい はきれい きんしん はい かんしん はい	の停滞 の低下 需要状 り り り 調査	帯 上昇 ア 別 記 見 が 説 見 の 別 見 の の の の の の の の の の の の の の の の	製下製の推然歯には一般がある。		単価の低 の変化へ まぼ同じに いるが、依 も上減少に かからず全	販売単価の 難 代金回収の 全項目 回人消費の らくは見り	一氏 でら拡込ま	と I 値の個ばいない	消へ購流 エもよる	者対の他 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	- ズの - でし - だい - だい	域への 除くいる て 不 沢 が 続	利へ店朽・シ用に	者にの   者にの   が設の   おこの   まこの   まっ   まっ   まっ   まっ   まっ   まっ   まっ   まっ	ズの狭っ見よらの	・老 観光 り、体的 化しに	
当面する	2 位	民 請難 はきれ売り ほうじゅう はいましま はいましょう はいまい はいましょう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	で の の で で で で で で で で で で で で で で で で で	おここの況は項資ぼ上 停が見目金同	製下製の推然歯業いのが対しています。		単価の低へ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	販難 代 回人らたまだまり 回人の 同人の 同人の 同人の 同人の 同人の にませい ほうしゅう ほうがい しゅう はい	一	と   I 値、しなに   で、しなに   である。	消へ 購流 エもよいや	者対 別出 資直のあて 主応 の 繰好、しる調 の 繰手 にしる調	・ズ 地 をし然状天に	或 除 て 不 い い い い が 不 る に に に が 不 る に に に に に に に に に に に に に に に に に に	利へ店朽り用に転期の語化は一客者し見	目対抗には、100mmのでは、100m	- ズ 狭 夏よらのいは、	・観、体し。国光利的に来体	
当面する	2 位	民 請難 はきれ売り ほうじゅう はいましま はいましょう はいまい はいましょう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	での低下での低下での低下である。 一部では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	<ul><li>・ D況は項資ぼた</li><li>上 停が見目金同が4</li><li>昇 滞続らの繰じ、3</li></ul>	製下製の推然歯業いな金のは、おいます。		単 の ぼう を いこを 用って で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	販難 代 回人らたま ま 全復消くめだ本で 可 項は費は、先格経 に 大格経	低 悪 Dれ大まのお業維	と   Iずもれ回て況持値、しな復。回、   の個ばいは   復体	消へ 購流 エもよいや活戦	貴) 買出 質値のるで 宝下こ 者対力 金はの厳い用安お のをはの、しる調かける。 のは、し、。 のは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	ブ 地 をし然状天に、消	が 除て不況候よ中費 Dるに続順生商欲	利へ店朽り用に転期のン用の舗化は一箸者し見開た		ズ 狭 夏よらのいは楽的	・ 観、体し。国一因 光利的に来体ズも	
当面する問題点	2位	民請難はきれ売り数業ポート間負民、回な上は値況イ要値位ででで	原の「一の一の一の一の一の一の一の一の一の一条が、一の一般」と移回から、ほしのら	おこうの況は項資ぼた 上 停が見目金同が46	製下製の推然歯業いな金イの上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上	四昇   一月   一月   一月   一月   一月   一月   一月   一	単 の ぼるとかこを用やり で ぼるとかって が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	販難 代 回人らたま ま力 での 収 目見の見業とり である 全復消くめだ本で勝 は 見の見業とり ごの は ひんしん こうしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん い	の でら拡込況思なの持 での か 業維久	と Iずもれ回て況持戦値、しな復。回、がの個ばいは 復体ま	消へ 購流 Iもよいや活戦が	(1) 買出 質直 D る で	ブ 地 をし然状天に、消る	或 除て不況候よ中費5。 の くい況が不る元意	利へ店朽・シ用に転期のン手の。新化は「客者し見開た位	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	ズ 狭 夏よらのいは楽的外の 陰 考しの	を 観、体し。国一因ら 光利的に来体ズもの	
当面する	2位 3位	民請難はきれ売り数業ポポ化間員民、回な上は値況イイし要値ででで <td< td=""><td>原の 無別り 解別と移回かと 悪状し査、ほしのら大</td><td>・ かいまでは、 ・ かいまでは、 ・ でが見目金同が46に ・ 対続らの繰じ、37悪</td><td>製下製の一推然歯業いな金イ厳で品・品対前移と止種状いのネしい。</td><td>                                     </td><td>単 の ぼう を いこを 用って で で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td><td>販難 代 回人らたま ま力だる 売 金 全復消くめだ本で勝ま。 単 回 項は費は、先格経負だ今 目見の見業と的営の続後</td><td>  の</td><td>  と   Iずもれ回て況持戦う末値、しな復る回、がでにの個ばいは 復体まあ向</td><td>消へ購流 Iもよいや活戦が I</td><td>着)買出資直のるで異下にTKR直者対力 金はの厳い用安お迷期は二応の 繰好、しる調かけし見大明は、サーバのでは、</td><td>- プラスない 整いるに通ぎる 地 をし然状天に、消れしな</td><td>                                    </td><td>利へ店朽り用に転期のン手人かられていませる。</td><td>  1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</td><td>ズ 狭 夏よらのいは楽的外あ</td><td>・ 観、体し。国一因らことが、 と 光利的に来体ズものと</td></td<>	原の 無別り 解別と移回かと 悪状し査、ほしのら大	・ かいまでは、 ・ かいまでは、 ・ でが見目金同が46に ・ 対続らの繰じ、37悪	製下製の一推然歯業いな金イ厳で品・品対前移と止種状いのネしい。		単 の ぼう を いこを 用って で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	販難 代 回人らたま ま力だる 売 金 全復消くめだ本で勝ま。 単 回 項は費は、先格経負だ今 目見の見業と的営の続後	の	と   Iずもれ回て況持戦う末値、しな復る回、がでにの個ばいは 復体まあ向	消へ購流 Iもよいや活戦が I	着)買出資直のるで異下にTKR直者対力 金はの厳い用安お迷期は二応の 繰好、しる調かけし見大明は、サーバのでは、	- プラスない 整いるに通ぎる 地 をし然状天に、消れしな		利へ店朽り用に転期のン手人かられていませる。	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	ズ 狭 夏よらのいは楽的外あ	・ 観、体し。国一因らことが、 と 光利的に来体ズものと	
当面する問題点	2位 3位	民請難はきれ売り数業ポポ化間員民、回な上は値況イイし冬要値ではシンた。場	原の 需別の 解別と移回かと 向原低 要状し査、ほしのら大 け		製下製の推然歯業いな金イ厳でる。(力算二応期ししめに況。導ッいる	川科 一 というでは、 これの	単の で で で で で で で で で で で で で	販難 代   回人らたま ま力だるけ	D フ でら拡込況思なの持きは金 (T	七   Iずもれ回て況持戦う末保値、しな復。回、がでにがの個ばいは 復体まあ向経	消へ購流 エもよいや活戦が エ見	着)買出資直のるで異下にTKR直者対力 金はの厳い用安お迷期は二応の 繰好、しる調かけし見大明は、サーバのでは、	- プラスない、登らるに通ぎ、 地 をし然状天に、消ぎしな需		利へ店朽り用に転期のン手人か待の話化すー客者し見開た伝的とさ	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	ズ 狭 夏よらのいは楽的外あ	・ 観、体し。国一因らことが、 と 光利的に来体ズものと	
当面する問題点	2位 3位	R	である。 需引り、 解引性の では、 要状し査、ほしのら大 けいの では、 はしのら大 けいの できる はんのらん はいの かん		製下製の「推然歯業いな金イ厳でる」たの。 品・品対前移と止種状いのネしい。経に は算二応期ししめに況。導ッいる「営事	川村 - 日、、からは、東京・18名 宮澤 工難 ズーにいったいは、上経状 上戦 ズーにいったがなな用がの営状 上戦	単 の ぼるたかっとで B D D 含	販難 代 回人らたま ま力だるけ営売 金 全復消くめだ本で勝ま。ての単 回 項は費は、先格経負だ今の鍵目見の見業と的営の続後資と	D フ でら拡込況思なの持きは金 (T	七   Iずもれ回て況持戦う末保値、しな復。回、がでにがの個ばいは 復体まあ向経	消へ購流 エもよいや活戦が エ見滞善	建り 買出 脅直のるて 崔下に 氐 K直らかが 子対 力 金はの厳い用安お迷期はれら見 一応 の 繰好、しる調かけし 見大ず、 - 6 で 一 他 リ 軒 作り。 豊 ジーフ 入ず、 - 6 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で い で い で か で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で か で か で か で か で で か で か で で か で で か で か で か で で か で で か で か で で か	- 地 り伝衣い 整合るに通ぎ 上で 地 をし然状天に、消れしな需高		利へ店村・シ用に転期のン手人か待用の部代は一客若し見開な行的らさ	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	ズ 狭 夏よらのいは楽的外あ	・ 観、体し。国一因らことが、 と 光利的に来体ズものと	
当面する問題点	2位 3位	R	で		製下製の「推然歯業いな金イ厳でる」た難り品・品対前移と止種状いのネしい。経にが、「クラニ応」期ししめに況。導ッいる「営事を益		<ul><li>単の</li><li>びまりを</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるの</li></ul>	販難 代 回人らたま ま力だるけ営売 金 全復消くめだ本で勝ま。ての単 回 項は費は、先格経負だ今の鍵目見の見業と的営の続後資と	D フ でら拡込況思なの持きは金 (T	七   Iずもれ回て況持戦う末保値、しな復。回、がでにがの個ばいは 復体まあ向経	消へ購流 エもよいや活戦が エ見滞善	費)買出資値りるで崔下に張を直らか者対力・金はの厳い用安お迷期はれら一下の一線が、しる調かけし見大ず売・一性・単・単・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 地 り伝衣い 整合るに通ぎ 上で 地 をし然状天に、消れしな需高		利へ店村・シ用に転期のン手人か待用の部代は一客若し見開な行的らさ	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	ズ 狭 夏よらのいは楽的外あ	・ 観、体し。国一因らことが、 と 光利的に来体ズものと	
当面する問題点	2位 3位	R	で		製下製の「推然歯業いな金イ厳てる」た難品・品対前移と止種状いのネしい。経にが「第二応」期ししめに況。導ッいる「営事を		<ul><li>単の</li><li>びまりを</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるの</li></ul>	販難 代 回人らたま ま力だるけ営売 金 全復消くめだ本で勝ま。ての単 回 項は費は、先格経負だ今の鍵目見の見業と的営の続後資と	D フ でら拡込況思なの持きは金 (T	七   Iずもれ回て況持戦う末保値、しな復。回、がでにがの個ばいは 復体まあ向経	消へ購流 エもよいや活戦が エ見滞善	建り 買出 脅直のるて 崔下に 氐 K直らかが 子対 力 金はの厳い用安お迷期はれら見 一応 の 繰好、しる調かけし 見大ず、 - 6 で 一 他 リ 軒 作り。 豊 ジーフ 入ず、 - 6 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で い で い で か で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で か で か で か で か で で か で か で で か で で か で か で か で で か で で か で か で で か	- 地 り伝衣い 整合るに通ぎ 上で 地 をし然状天に、消れしな需高		利へ店村・シ用に転期のン手人か待用の部代は一客若し見開な行的らさ	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	ズ 狭 夏よらのいは楽的外あ	・ 観、体し。国一因らことが、 と 光利的に来体ズものと	
当面する問題点	2位 3位	R	で		製下製の「推然歯業いな金イ厳でる」た難り品・品対前移と止種状いのネしい。経にが、「クラニ応」期ししめに況。導ッいる「営事を益		<ul><li>単の</li><li>びまりを</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるかった</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるのの</li><li>ではなるの</li></ul>	販難 代 回人らたま ま力だるけ営売 金 全復消くめだ本で勝ま。ての単 回 項は費は、先格経負だ今の鍵目見の見業と的営の続後資と	D フ でら拡込況思なの持きは金 (T	七   Iずもれ回て況持戦う末保値、しな復。回、がでにがの個ばいは 復体まあ向経	消へ購流 エもよいや活戦が エ見滞善	建り 買出 脅直のるて 崔下に 氐 K直らかが 子対 力 金はの厳い用安お迷期はれら見 一応 の 繰好、しる調かけし 見大ず、 - 6 で 一 他 リ 軒 作り。 豊 ジーフ 入ず、 - 6 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で い で い で か で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で か で か で か で か で で か で か で で か で で か で か で か で で か で で か で か で で か	- 地 り伝衣い 整合るに通ぎ 上で 地 をし然状天に、消れしな需高		利へ店村・シ用に転期のン手人か待用の部代は一客若し見開な行的らさ	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	ズ 狭 夏よらのいは楽的外あ	・ 観、体し。国一因らことが、 と 光利的に来体ズものと	

( 68ポイント)から 51ポイントと縮小され、数値上は底を打ったかに見えるが、一部の業種で若干改善されているが、他の業種は資金繰り



当所では分析にあたってD・I(好転したとする企業割合から悪化したとする企業割合を差し引いた値)を採用しました。

( )は前回調査時のD・I値